

2018年8月3日

News Release

報道関係各位

一般社団法人 日本EVクラブ

『いざ、白馬!』

アベレージラリー「村男Ⅲ世カップ」を初開催!! スペシャルトークゲストは、荻原健司氏に決定!

第5回「ジャパンEVラリー白馬 2018」

2018年9月1(土)～2日(日) 開催

全国各地からEV&プラグインハイブリッド車(PHV)が白馬に集結! 電気自動車のための夏山イベント、「ジャパンEVラリー白馬」が今年も開催されます。5年目を迎える今回は、新たなチャレンジ企画として、アベレージラリー「村男Ⅲ世カップ」を開催。趣向を凝らしたプレミアムなラリーを目指します。

今年のEVラリーは、白馬東急ホテルがゴールです。ゴール後には、ゲストを招き社会とつながるEVの役割について考えるシンポジウムや、ピュッフエスタイルの懇親会を開きます。また、翌日はHakuba47を拠点として行われるアベレージラリー「村男Ⅲ世カップ」にジャーナリストを含むEVラリー参加者全員で挑戦。最後はオープンエアでのBBQランチを楽しみます。

さらにグレードアップした「ジャパンEVラリー白馬2018」を開催することで、自然と自動車との共生を考えながら、EV&プラグインハイブリッド車のさらなる普及を目指します。

<ジャパンEVラリー白馬2018>

■開催趣旨

地球温暖化は待ったなしの状況です。日本列島は夏は豪雨と酷暑、冬は豪雪に見舞われています。7月初旬に中国、四国地方を襲った集中豪雨では200人を超すたくさんの人たちが亡くなりました。さまざまな原因が考えられますが、基本的には地球温暖化によって海水の温度が上昇し、大量の水蒸気が発生、巨大な雨雲が形成され、豪雨をもたらせたと考えられます。私たちのこれまでの生活の仕方=ライフスタイルが、そして企業活動の形が、地球の温暖化をもたらせ、結果として多くの犠牲者を出してしまったということです。地球温暖化とは、なんとも哀しく、耐え難いことです。

世界の自動車のCO2排出量は73億トンです(2015年)。これは世界のCO2排出量の23%を占めます。一方、CO2をまったく排出しない再生可能エネルギーによる発電量は22.1%です(2013年)。世界の自動車がすべてEVになっても再生可能エネルギーで充電できる可能性が高まっています。EVの普及を促進することで、地球温暖化を抑制できるのです。

一般社団法人日本EVクラブは、EVの普及を促進する市民の団体です。活動の一環の一つとして「ジャパンEVラリー白馬 2018」を、2018年9月1(土)～2日(日)の2日間にわたり、長野県白馬村で開催します(主催:一般社団法人 日本EVクラブ、共催:白馬EVクラブ、後援:経済産業省、環境省、白馬村、白馬村観光局。白馬村は電力の97%をCO2フリーの水力によって発電しています。交通の電化を推進すると完全ゼロエミッション化が可能な観光地になります。白馬村はEVラリーに最適な舞台です。

「ジャパンEVラリー」はEVとプラグインハイブリッド車のオーナーが全国各地から集結し、語り、学び、遊び、親交を深め、EVの普及を願って解散するというイベントです。

このイベントを通じて伝えたいことは、

- 1)充電設備の普及によって遠方へのドライブにもEVは十分使えることを、ユーザー自身が示すことにより、EVに対する不安を払拭する
 - 2)EVはクリーンで静かなだけでなく、ドライブが楽しい、疲れのない自動車だとアピールする
 - 3)EVは、人と人、人と社会・地域、自然とつながる力があるということを伝える
- といったことです。

加えて、大量の電気エネルギーを搭載したEV・プラグインハイブリッド車はキャンプなどのレジャーや、災害時に電力を供給することができることも訴求します。

また、参加者全員に『EV普及アンバサダー』の称号を差し上げます。

報道関係の皆様のご尽力により、多くの人々が「ジャパンEVラリー白馬 2018」に集い、EVの普及に弾みがつくことを願います。

■開催概要

5回目を迎えるに当たり、さらに進化した“プレミアムなラリー”を楽しんでもらえるよう、まったく新しいチャレンジ企画を用意しました。

昨年大好評だった白馬東急ホテルでの懇親会とシンポジウムはそのままに、今年はEVラリーのゴールも東急ホテルに移します。懇親会のゲストには、“キングオブスキー” オリンピック金メダリストの荻原健司氏を迎え、スペシャルトークを行います。

そして、今年新たに開催するのが、EVチャレンジ! アベレージラリー「村男Ⅲ世カップ」です。白馬村のスキー場Hakuba47を拠点として、コマ地図を見ながら白馬村周辺のコースを巡ります。初心者でも楽しめ、でもちょっと本格的なアベレージラリーです。そのあとは、名物白馬ぶた網焼きBBQランチをしながら表彰式を行います。

また、環境省のCOOL CHOICE活動の一環として、子供たちにもEVに触れてもらおうと、親子電気レーシングカート(ERK)組立体験&試乗を開きます。ERKのパーツを組み立てたあとはヘルメット&グローブをつけて試乗します。

充実したラリーイベントを多くの人に楽しんでもらうのはもちろん、EV・プラグインハイブリッド車の性能の高さとその魅力を広く知ってもらい、いっそうの普及を促します。

■ イベント詳細内容／スケジュール

9月1日(土)

① EVラリーゴール(白馬東急ホテル)／11:00～14:00

EV・プラグインハイブリッド車でゴールの白馬東急ホテルを目指します。ゴール後は、車両ごとに記念撮影をします。

② シンポジウム『災害時におけるEVの給電機能について考える(仮)』(白馬東急ホテル)／15:00～16:30

これからの災害に備えて、EVならではの給電機能に注目し、社会の中でEVをどう活用すべきかをEVオーナーのみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。ゲストの東北大学災害科学国際研究所・柴山明寛准教授からお話を伺います。

<プログラム(予定)>

- ・問題提起／「社会とつながるEVの力(仮)」日本EVクラブ代表 館内 端
- ・「EVスーパーセブン東北被災地を巡る旅」報告
- ・特別講演／東北大学災害科学国際研究所 工学博士 柴山明寛准教授

③ EVラリー懇親会ビュッフェパーティ(白馬東急ホテル)／18:00～21:00

昨年に引き続き、エレガントな山岳リゾート、白馬東急ホテルでのビュッフェ式パーティです。美味しい料理とイベントを楽しめる懇親会です。

<プログラム(予定)>

・スペシャルトーク／ゲストのスキースキーノルディック複合金メダリスト・荻原健司氏と、日本EVクラブ館内代表によるスペシャルトークタイム。チャンピオンの食事と健康をテーマに話を伺います。

※荻原健司プロフィール…'92年アルペールビル、'94年リレハンメル五輪スキースキーノルディック複合団体戦で金メダル獲得。ワールドカップでは通算19勝の成績を収め、“キングオブスキー”と称された。参議院議員を6年務め、現在は北野建設(株)スキー部のGM(General Manager)として、オリンピック選手の育成にあたる。所属選手には、渡部暁斗などがある。

- ・参加者全員にEV普及アンバサダー認定証を授与
- ・特別賞表彰式(皆勤賞、遠くから来たで賞ほか)

9月2日(日)

① EVチャレンジ! アベレージラリー「村男Ⅲ世カップ」(Hakuba47)／8:30～12:30

今回の目玉企画です。スタートとゴールはHakuba47。当日配布するコマ地図に従って、美しい自然に囲まれた白馬村を走行します。途中に設けられた速度計測区間は、指定された速度で走ります。早く走っても遅く走ってもペナルティとなります。その上で、規定時間内にゴールすることを目指します。

また、今年も自動車ジャーナリストがEV&プラグインハイブリッド車で参加。抽選に当たった参加者は、ジャーナリストの車両に同乗して一緒にゴールを目指すという特典も。ちなみにラリーの名称は、白馬村のゆるキャラ“ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世”に由来します。

② アベレージラリー表彰&白馬ぶた網焼きBBQランチ(Hakuba47)／12:30～14:30

気持ちのいい戸外で、名物の白馬ぶた網焼きBBQランチを食べながら、アベレージラリーの結果発表と入賞者を表彰します。

③白馬 COOL CHOICE・親子電気レーシングカート組立体験&試乗(Hakuba47)／14:30～16:00

白馬村では環境省がすすめているCO2削減国民運動「COOL CHOICE」に参画しています。この運動の一環として、小学生を対象に電気自動車のことがよくわかる教室を開きます。教材はkids ERK(子供用電気レーシングカート)です。電気レーシングカートを組み立てながら、電気自動車の構造を学びます。完成後に試乗します。参加費無料です。

■募集要項

- ・参加資格／EV・プラグインハイブリッド車に乗って参加のこと。レンタカーも可。
- ・参加費／1台につき22,500円(日本EVクラブ会員は、20,000円)
- ※9/1(土)のフリードリンク付きビュッフェパーティ代と9/2(日)のBBQランチ代(それぞれ1人分)、アベレージラリー参加費、記念Tシャツ(1枚)、ステッカー等のお土産付き。
- ※同伴者は、別途パーティ代 1人7,500円(小学生以下はお子様ディナープレート飲み物付き 1人4,000円、中学生以上は大人扱い)、BBQランチ代 1人3,000円(子供料金の設定なし)がかかります。
- ・参加申込／事前申込が必要(ホームページより申込)
- ・親子電気レーシングカート組立体験&試乗は無料です。小学生対象。必ず親子で参加のこと。事前の参加申し込みは必要ありません。

詳細は、EVラリー特設ウェブサイト <http://rally2018.jevc.gr.jp/> をご覧ください。

<取材のご案内>

ぜひ取材にお越しください。

よろしければ、国内外メーカーのEVもしくは、プラグインハイブリッド車をご用意いたします。

緑あふれる白馬で、涼しいひとときをお過ごしください。

取材ご希望の方は、日本EVクラブ事務局までご連絡ください。

以上

☆問い合わせ先

一般社団法人 日本EVクラブ事務局 石川響子

〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-20-10-401

TEL 03-5376-8446 FAX 03-5376-5310 <http://www.jevc.gr.jp> E-mail: info@jevc.gr.jp